お手入れのしかた

お手入れ早見表

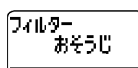
⚠注意

●お手入れの前には必ず運転を停止し、ブレーカーを切ってください。
●室内ユニットの金属部に手を触れないでください。けがの原因になることがあります。

●各部品の取外し・取付け
前面パネル ▶36ページ
エアフィルター、光触媒空清フィルター、給気フィルター ▶37,38ページ

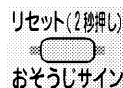
	お手入れのめやす／お手入れのしかた	ご注意
エアフィルター	リモコン表示部に［フィルター おそうじ］が表示されたら ●水洗いするか、掃除機でホコリを吸い取る。 ●汚れのひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗い、日陰でよく乾かす。	
光触媒空清フィルター （3年程度をめやすに交換）	約6ヵ月に一度 ●掃除機でホコリを吸い取り、汚れのひどいときは、ぬるま湯または水で約10～15分つけおき洗いをする。	●フィルターはこすり洗いしないでください。 ●つけおきする場合は、フィルターを枠から出さないでください。 ●つけおき後は、軽く水切りをし、日陰でよく乾かしてください。 ●水切りの際はフィルターをしぼらないでください。
前面パネル	都度 ●水または中性洗剤を含ませたやわらかい布で軽くふく。 ●水洗いをした後は水気をよくふき取り、日陰で乾かす。	●40℃以上のお湯、ベンジン、ガソリン、シンナーなどの揮発性のもの、みがき粉、タワシなどのかたいものは使わないでください。
室内ユニット	都度 ●やわらかい布でからぶきする。	
リモコン		
給気フィルター （1年程度をめやすに交換）	約3ヵ月に一度 ●掃除機でホコリを吸い取る。［水洗い不可］	

おそうじサイン

停止中、運転時間によりおそうじサインがリモコンに表示されます。エアフィルターのお手入れ時期をお知らせします。

［フィルター おそうじ］ ●約340時間以上運転すると「フィルターおそうじ」サインが表示されます。

●定期的なお手入れは、省エネにつながります。

おそうじサインリセット

■お手入れ後、ブレーカーを入れ、運転しない状態でリモコンをエアコン本体に向けて

を約2秒間押す。

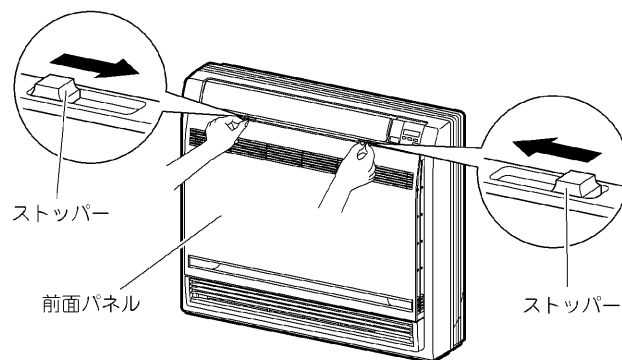
●おそうじサインが消えます。

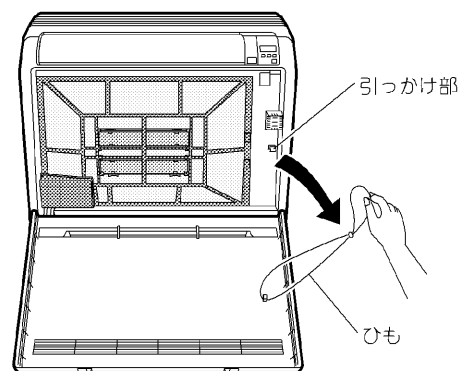
⚠注 意

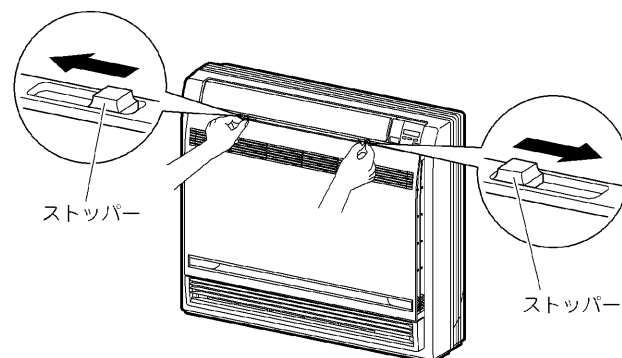
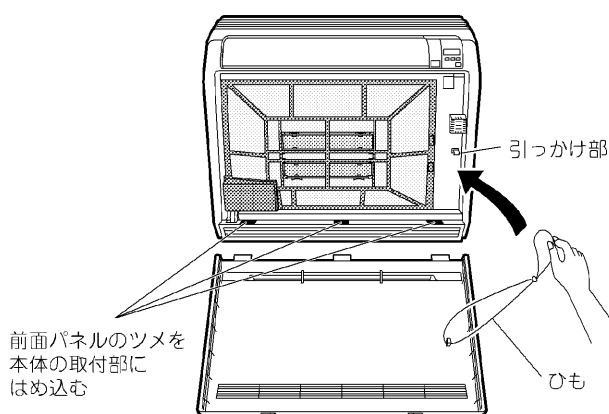
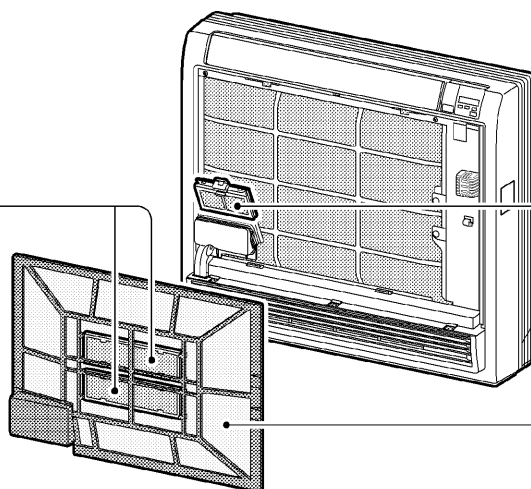
- お手入れの前には必ず運転を停止し、ブレーカーを切ってください。
- 室内ユニットの金属部に手を触れないでください。けがの原因になることがあります。
- 前面パネルは、確実に取り付いていることを確認してください。

前面パネルの取外し・取付け

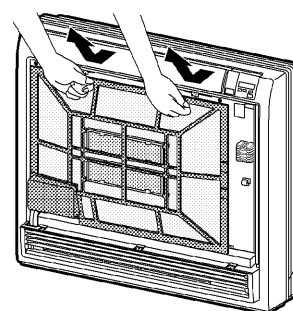
1 前面パネルを開ける。

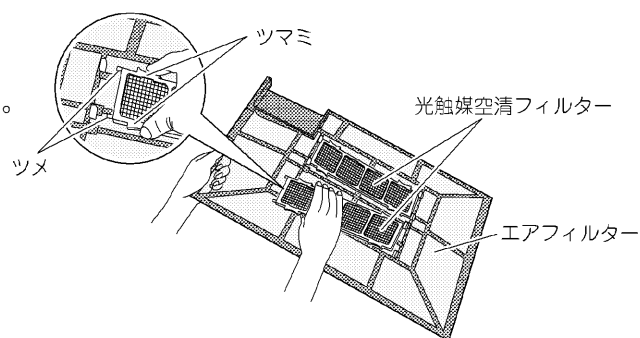
- 左右のストッパー（2ヵ所）を内側に「カチッ」というまでスライドさせます。

2 前面パネルを外す。

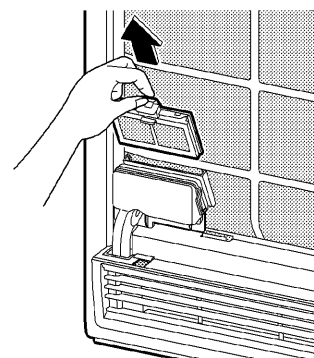
- 引っかけ部からひもを外します。
- そのまま前面パネルを手前に倒すと外れます。

3 前面パネルを取り付ける。

- 前面パネルのツメを本体の取付部にはめ込みます。（3ヵ所）
- ひもを引っかけ部に取り付けます。
- そのまま前面パネルをゆっくりと閉じ、左右のストッパー（2ヵ所）を外側へ「カチッ」というまでスライドさせてください。

フィルター部（フィルター）

フィルター部の取外し

1 前面パネルを外し、エアフィルターを引き出す。

●エアフィルターの左右のツマミを少し下へ押し下げ、上方向に引き出します。

2 光触媒空清フィルターを外す。

●エアフィルターの裏側にあります。
●フィルター枠のツマミを持ち、ツメ４ヵ所を外します。

3 給気フィルターを引き出す。

●ツマミを持って、上へ引き出します。

お手入れのしかた　フィルター部（フィルター）

フィルター部の取付け

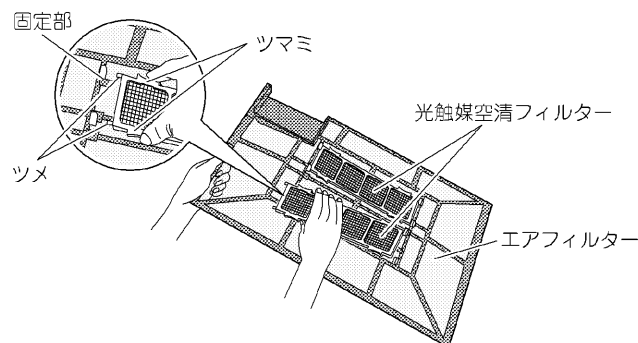
⚠注意

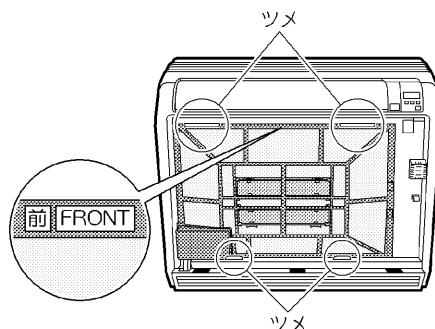
●掃除後は忘れずにもとどおり取り付けてください。
給気フィルターを取り付けずに加湿運転をすると、パネル内部などに結露し、水もれの原因となります。

1 給気フィルターをもとどおり取り付ける。

●「前」の表示を手前にして取り付けます。

2 光触媒空清フィルターを取り付ける。

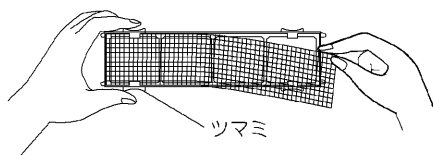
●エアフィルターの裏側にある固定部（4ヵ所）にフィルター枠のツメ（4ヵ所）を差し込みます。

3 エアフィルターを取り付ける。

●エアフィルターは「前」の表示を手前にして差し込みます。
●ツメ（上２ヵ所、下２ヵ所）は必ず差し込んでください。

4 前面パネルをもとどおり取り付ける。▶36ページ

交換のしかた

光触媒空清フィルター

約３年に一度交換

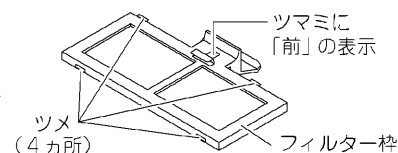
●フィルター枠から外し、新しいフィルターと取り替えます。

●使用済みのフィルターは燃えるゴミとして処分してください。（材質：ポリプロピレン／紙）
詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法にしたがってください。

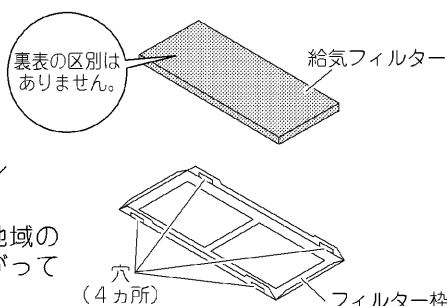
給気フィルター

約１年に一度交換

●フィルター枠のツメ（４ヵ所）を外し、新しいフィルターと取り替えます。

ツマミに「前」の表示
ツメ（４ヵ所）
フィルター枠

裏表の区別はありません。
給気フィルター

●使用済みのフィルターは不燃物ゴミとして処分してください。
（材質：ポリエチレン／ポリプロピレン）
詳しくはお住まいの地域のゴミ分別方法にしたがってください。

穴（４ヵ所）
フィルター枠

お知らせ

■光触媒空清フィルターは、定期的にお掃除してください。
下記の場合は交換をおすすめします。

●素材が紙のため、お掃除時につぶれたりした場合。
●長期間のご使用で汚れがひどくなった場合。

品名	品番	交換時期のめやす
光触媒空清フィルター（枠付）２枚組	KAF968A41	約３年
光触媒空清フィルター（枠なし）２枚組	KAF968A42	
給気フィルター　※１	KAF982A43	約１年

※１　給気フィルターには、枠が１枚、フィルターが２枚入っています。

■光触媒空清フィルターと給気フィルターは、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にお申し込みください。▶45ページ

フリーダイヤル 0120-88-1081（全国共通フリーダイヤル）
FAXでのお問合わせは　0120-07-0881（FAX専用フリーダイヤル）
http://www.daikincc.com（ご相談対応ホームページ）

■各部品が汚れたまま使用すると
●空気清浄効果が得られません。
●脱臭効果が得られません。
●冷房・暖房能力が落ちます。
●ニオイが発生することがあります。

点検

■室外ユニットの据付台などが腐ったり、さびたりしていませんか。
落下のおそれがあります。
お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。

■室内、室外ユニットの吸込口、吹出口がふさがれていませんか。
障害物があれば、運転を停止し、ブレーカーを切ってから障害物を取り除いてください。

■冷房・除湿運転を行っているとき、ドレンホースから正しく排水されていますか。
排水されていないと、室内ユニットから水がもれるおそれがあります。
この場合は運転を停止し、ダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。

■アース線が外れたり、途中で断線していませんか。
不完全な場合は、感電の原因になることがあります。
ダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。

長期間使わないとき

①晴れた日に内部クリーン運転をして、
内部をよく乾燥させる。

■内部クリーン運転のしかた

停止中に
内部クリーン を約２秒間押す。

内部クリーン　２～３時間で停止します。

②運転停止後、エアコン専用のブレーカーを切る。

③エアフィルターを掃除して、
もとどおり取り付ける。

④リモコンの電池を取り出す。

●再び使用する場合、ブレーカーを入れてください。
（屋外温度が－15℃以下のときは運転開始の１時間以上前にブレーカーを入れてください。）

故障かな？

故障ではありません

次のような症状はそれぞれ理由があります。
故障ではありませんのでそのままご使用ください。

こんなとき	故障ではありません
すぐに運転しない ●運転を停止してすぐに再運転したとき ●運転モードを変更したとき	●エアコンを保護するためです。 約３分間お待ちください。
●さらら除湿・除湿冷房・冷房運転をしたとき	●「風量自動」にすると、室内ユニットの中にこもったイヤなニオイを抑えてから、風を送り出す「ニオイないス」機能が働きます。約 40 秒お待ちください。
暖房運転のときすぐに風が出ない	●エアコンを暖めています。 １〜４分間お待ちください。
設定しつどにならない	●室内・屋外の周囲状況によっては設定しつどにならない場合があります。 **■設定しつどまで上がらない** 〈加湿暖房運転時〉　設定温度を下げてください。 〈うるる加湿運転時〉リモコンの湿度ボタンで設定しつどを「連続」にしてください。 **■設定しつどまで下がらない** 〈除湿冷房運転時〉　設定温度を下げるかさらら除湿運転に切り換える、または設定切換で「いつでもさらら入」に切り換えてください。 〈さらら除湿運転時〉設定温度を下げてください。 **■設定しつどより下がり過ぎる** 〈除湿冷房運転時〉　設定温度を上げてください。 〈さらら除湿運転時〉設定温度を上げるか除湿冷房運転に切り換えてください。 ●除湿冷房は、屋外温度がより高いときにおすすめの運転です。
音がする	**■運転中・停止中に「カチッ」という音** ●冷媒を制御する弁や、電気部品が作動する音です。 **■水の流れるような音** ●エアコン内部に冷媒が流れているためです。 **■「プシュー」という音** ●エアコン内部の冷媒の流れが切り換わるときの音です。 **■「ピシッ」という音** ●温度変化でエアコンがわずかに伸び縮みするときの音です。 **■「ポコッポコッ」という音** ●お部屋を閉めきって換気扇を回したとき、エアコン内部から聞こえてくる音です。窓を開けるか、換気扇を止めてください。
加湿運転、換気運転中に「シュー」という音がする	●加湿された空気や換気された空気が放出される音です。 ●屋外の温度、しつどによっては運転音が変わる場合があります。
加湿運転中に音がする	**■運転音が変化する** ●加湿用ファンが動いたり止まったりするためです。
加湿運転を停止しても室内ユニットから音がする	●製品保護のため停止後も約３分間は加湿用ファンが回ります。

こんなとき	故障ではありません
暖房運転中に運転が止まり、水の流れるような音がする	●室外ユニットに付いた霜を取り除いています。約3～10分間お待ちください。
室外ユニットから水や湯気が出る	■暖房運転のとき ●室外ユニットに付いた霜を取り除き、水や湯気として出すためです。 ■冷房運転などのとき ●室外ユニットの冷えた配管に水滴が付き、滴下するためです。
室内ユニットから霧が出る	●冷房運転などのとき、お部屋の空気が冷風で冷やされて霧になるためです。 ●冷房運転または除湿冷房運転後にさらら除湿運転した場合、熱交換器に付いた水分が蒸発するためです。
エアコンからイヤなニオイがする	●室内ユニットにしみついた、お部屋のニオイなどを吹き出すためです。（室内ユニットの洗浄をおすすめします。ダイキンお客様ご相談窓口へご相談ください。） ●うるる加湿運転や換気運転を行うと、屋外のニオイを吸い込むことがあります。運転を停止して、ニオイの原因を取り除いてください。
さらら除湿運転開始時に冷風が出る	●エアコンが暖まっていないためです。
運転停止中に室内外ユニットのファンが回る	■運転を停止した直後 ●製品保護のため約1分間は室外ユニットのファンが回ります。 ■運転を停止している間 ●屋外温度が高いとき、製品保護のため室外ユニットのファンが回ることがあります。 ●連続（24時間）換気設定中は、運転を停止しても虹色マルチモニターランプが消灯したまま、連続換気運転します。
運転が止まった（虹色マルチモニターランプは点灯）	●電圧が急に大きく変動した場合、製品保護のため、停止することがあります。約3分後自動的に運転を再開します。
途中で運転が止まる（入タイマー運転中）	●入タイマーを予約すると、その時刻にリモコンの設定温度になるように、最長1時間前から運転を始めます。このあいだにリモコンを操作（運転／停止ボタンを除く）すると、停止するようになっています。リモコンで再度運転を行ってください。
虹色マルチモニターランプが消えているのに運転する	●リモコンの設定切換で「モニター切」にすると、虹色マルチモニターランプは消灯します。
さらら除湿・除湿冷房・冷房運転を停止しても運転し続ける	●内部クリーン運転を行っているためです。（お好みに合わないときは、リモコンの設定切換で、「内部クリーン切」にしてください。▶29ページ）

故障かな？

故障ではありません

**次のような症状はそれぞれ理由があります。
故障ではありませんのでそのままご使用ください。**

こんなとき	故障ではありません
リモコン信号を受信しない、感度が悪い 表示が薄い、出ない 表示が勝手に変わる	●乾電池が消耗しており誤作動を起こしている可能性があります。 すべての電池を同時に新しいアルカリ電池に交換してください。 詳細については、"運転前の準備"をご参照ください。▶10ページ

修理を依頼する前にもう一度お調べください

こんなとき	お調べください
運転しない (虹色マルチモニターランプが消えている)	●ブレーカーまたはヒューズが切れていませんか？ ●停電ではありませんか？ ●リモコンの電池が入っていますか？ ●タイマー予約のしかたを間違っていませんか？
運転しない (虹色マルチモニターランプが点滅)	●ブレーカーでいったん電源を切り、リモコンで再度運転をしてください。 それでも虹色マルチモニターランプが点滅する場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 ブレーカーを切ってください。
途中で運転が止まる (虹色マルチモニターランプが点滅)	●エアフィルターが汚れていませんか？ ●室内ユニットや室外ユニットの吸込口、吹出口をふさいでいませんか？ 運転を停止し、ブレーカーを切ってからエアフィルターを掃除する、または障害物を取り除き、リモコンで再度運転してください。 **それでも虹色マルチモニターランプが点滅する場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。** **ブレーカーを切ってください。**
よく冷えない・暖まらない	●エアフィルターが汚れていませんか？ ●室内ユニットや室外ユニットの吸込口、吹出口をふさいでいませんか？ ●リモコンの設定温度は適切ですか？ ●窓や扉が開いていませんか？ ●風量調節、風向調節は適切ですか？ ●換気扇が回っていませんか？
運転中、急に動きがおかしくなる	●運転中、本体内部に手を入れていませんか？(触れていませんか) 手を入れると(触れると)、静電気などの影響で誤作動する場合がありますので本体内部には手を入れないでください。 ●雷や無線などにより誤作動する場合があります。 ブレーカーでいったん電源を切り、リモコンで再度運転をしてください。

すぐに販売店へ

⚠警 告

■異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止してブレーカーを切る。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災などの原因になります。
お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。

■エアコンの修理や改造は自分でしない。
不備があると感電・火災などの原因になります。
お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。

■エアコンが冷えない（暖まらない）場合は、冷媒のもれが原因のひとつとして考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。冷媒の追加を伴う修理の場合は、修理の内容をサービスマンに確認してください。
エアコンに使用されている冷媒は安全です。冷媒は通常もれることはありませんが、万一、冷媒が室内にもれ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有害な生成物が発生する原因になります。

下記のような症状がでた場合にはすぐに販売店へご連絡ください

■電源コードが異常に熱い、または傷んでいる
■運転中に異常音がする
■誤って異物や水を入れてしまった
■ブレーカーやヒューズ、漏電しゃ断器がたびたび切れる
■リモコンや本体の運転／停止ボタンの操作が不確実
■こげ臭いニオイがする
■室内ユニットから水がもれる

運転を停止し、ブレーカーを切って販売店へご連絡ください。

■冷風／温風は出ているが、運転開始時もしくは運転中に虹色マルチモニターランプが一定時間（約２分間）点滅する

加湿ユニットや一部のセンサーの異常、もしくは初期設定不良をお知らせしています。
応急的な運転として冷／暖房運転を行っておりますので、販売店へご連絡ください。

■運転中に停電になったら

通電後 (運転/停止) を押して運転を再開してください。

■雷がなりだしたら

落雷のおそれがあるときは、エアコン保護のため、運転を停止し、ブレーカーを切ってください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

保証について

■保証書（別添）は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

■保証期間はお買い上げ日から1年間、ただし冷媒系統部分については5年間です。

<保証期間中>
保証書の規定にしたがって出張修理させていただきます。その際には、「保証書」をご提示ください。

<保証期間経過後>
修理すればご使用できる場合は、有料にて修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

修理を依頼されるとき

■40ページ～43ページにしたがって調べていただき、なお異常があるときは、必ず運転を停止し、ブレーカーを切って、お買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容
1. 品　名　ルームエアコン
2. 機種名　室内ユニット参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 異常内容（できるだけ具体的に）
5. 電話番号・ご住所・お名前
6. 室外ユニットの設置場所

補修用性能部品の保有期間について

■ルームエアコンの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後10年です。
●「補修用性能部品」とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

点検整備のおすすめ

■エアコンを数シーズン使用した場合は、室内ユニットの内部が汚れ、性能が低下する場合があります。また、ゴミやホコリがたまって、ニオイが発生したり、除湿水の排水経路をつまらせ、室内ユニットからの水もれの原因になることがあります。通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。点検整備はお買い上げの販売店にご相談ください。
なお、この場合は実費が必要となります。

エアコン内部の洗浄について

■市販のエアコン洗浄剤をご使用されますと、除菌効果が損なわれたり、場合によっては熱交換器や機械内部の樹脂に悪影響をあたえ、最悪の場合水もれなどの不具合が発生するおそれがあります。
熱交換器の洗浄についてはお買い上げの販売店またはダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。

据付場所について

運転音にも配慮を

■次のような場所をお選びください。
●エアコンの重量に十分耐え、騒音や振動が増大しない場所。
●室外ユニットの吹出口からの風や運転音が隣家の迷惑にならない場所。

電気工事について

●電源は必ずエアコン専用回路をご使用ください。

移設について

●増改築・引越などで、製品を移設されたり、再据付けする場合は、お買い上げの販売店または
ダイキンお客様ご相談窓口にご相談ください。加湿ホース長の再設定が必要です。

■室外ユニットの設置は周囲に異臭・異常音のないところにしてください。
■調理室など油煙の多いところ、または可燃性ガス・腐食性ガスや金属製のホコリのある場所では設置を避けてください。
■床面などにワックスを塗布するときは、運転をしないでください。（エアコン内部にワックスの成分が付着し、水もれの原因となります。）ワックス塗布後は十分換気を行ってから運転してください。
■積雪や植木鉢などで、吸込口や吹出口をふさがないでください。
■次の場所へ据付けされる場合は、販売店にご相談ください。
●油・蒸気・油煙の発生するところ。
●海浜地区など塩分の多いところ。
●温泉地など硫化ガスの発生するところ。
●積雪により、室外ユニットがふさがれてしまうところ。
室外ユニットからの排水は水はけのよいところにしてください。

室内・室外ユニット周辺の確認

■右図の距離をあけないと、エアコンの能力が低下したり、テレビやラジオに雑音が入るおそれがあります。
■火災警報器と室内ユニットの吹出口は1.5m以上の距離をあけてください。
●設置場所に余裕があれば、効率の良い運転のために、できるだけ広い寸法をお取りください。